
社会実装・外部連携等に関するNICTの取組について

令和6年12月16日

国立研究開発法人情報通信研究機構

NICTのテストベッドについて

ICT分野の技術検証と社会実証の一体的な推進を 可能とする検証プラットフォーム

- ・自主研究部門が研究開発成果を検証
- ・外部に供用
例：総合テストベッド等
- ・総務省からの補助事業の実施に活用
(外部提供も含む)
例：サイバーセキュリティ統合知的・人材育成基盤等

テストベッドの概要（総合テストベッド）

名称	概要
超高速研究開発 ネットワークテストベッド JGN	国内外のアクセスポイントを最大100Gbpsの広帯域な回線で接続し、Layer2／Layer3接続、仮想化サービス、光テストベッド等の各種サービスを提供
B5Gモバイル環境	モバイルアプリケーションの実証環境、モバイルネットワーク開発環境、及び、モバイル基地局開発環境を提供
B5G高信頼仮想化環境	ソフトウェア化されたネットワーク機能と仮想化技術による次世代仮想化サービス環境、及び、光ホワイトボックス環境を提供
CyReal	物理的な事象の取り込みをシミュレーション要素の導入により可能とする環境のプラットフォームを提供
P4実験環境	データプレーンプログラミング言語”P4”を用いたSDN(Software Defined Network)技術の実験環境を提供
大規模計算機環境 StarBED	汎用的なPCサーバとスイッチから成る大規模な検証用の環境を提供
DCCS (Data Centric Cloud Service)	多様なデータとそれを活用する機能をWebAPIとしてユーザーに提供



「高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッド」について運用・循環進化の取り組みを例示（後述P6）

テストベッドの概要（その他外部に供用し得るテストベッド）

名称	目的
量子鍵配送ネットワーク実証設備	民間企業等が利用可能な量子暗号通信ネットワークの構築と実証利用
ICTデバイスラボ施設	グリーン・デジタル社会の基盤となるICTデバイスの超高効率化や早期の社会実装を実現するため、民間企業等が利用可能なテストベッドを整備
量子暗号通信を実現するための光地上局テストベッド	衛星コンステレーションにおける量子暗号通信について、光地上局システムが抱える技術課題を産学官連携によって解決するためのテストベッド環境を整備し実証利用
電波測定環境 (マイクロ波帯対応電波暗室)	Beyond 5G技術のコアとなる超高速・超大容量・超低遅延・超多数接続・低消費電力等を実現するために必要となる、下記の研究開発設備を整備 1. Beyond 5G伝送基盤技術開発環境 Beyond 5Gにおいて活用が強く期待されるテラヘルツ波等の超高周波数帯も活用した伝送技術の研究開発を推進 2. Beyond 5Gを支える超高速光通信技術開発設備 Beyond 5Gの超高速・大容量の無線通信を支える超高速光通信技術の研究開発を推進 3. 高信頼・高可塑Beyond 5G/IoTテストベッド Beyond 5Gネットワークの高い信頼性・可塑性確保のための研究開発を推進
超高速光伝送実証設備	
B5G測定環境 (テラヘルツ帯対応電波暗室)	
人工衛星観測用鹿島35cm望遠鏡	事業者自身が行う電波による軌道決定手法の精度の確認や、当該静止衛星の周辺における他機関が運用している人工衛星の有無の確認
サイバーセキュリティ 統合知的・人材育成基盤	膨大なサイバーセキュリティ情報を国内で収集・蓄積・分析・提供するとともに、社会全体でサイバーセキュリティ人材を育成するための共通基盤を開放することで、日本のサイバーセキュリティの対応能力向上を目指す先端的基盤

※委託研究と助成金事業に限られるなど外部への供用に制限のある設備を含む。

B5Gに向けたテストベッド(高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッド)



- Beyond 5G 時代の社会的・技術的ニーズを検証可能な実証環境として「高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッド」をサービス開始(R4年10月)
- 各提供機能は、研究開発広域網「JGN」、大規模計算機環境「StarBED」を介して提供され、複数の機能を連携させた利用形態も想定
 - B5G高信頼仮想化環境: JGN上に実装され、国内の複数JGN拠点にわたる実証が可能
 - B5Gモバイル環境: JGNに接続するモバイル拠点を東京、大阪、九州に設置。一部コア設備は北陸拠点に設置
 - CyReal実証環境: StarBED上に実装され、JGNを介した遠隔利用にも対応
- 各検証環境を機能拡張しつつ、各環境の連携(今後、外部も含む)、及び強化機能の研究開発を推進



高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの運用・循環進化の取組み

高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの運用を継続する中で、**B5G社会実装**に資するさらなる利活用の拡大・充実を目指し、以下の視点で取り組んだ

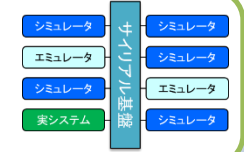
- **TB利活用事例、利用見込案件を精査**し、件数の推移や利用形態の変化を分析し、新規・既存テストベッド機能(HPの改善等を含む)の適用・実施を進めた
- **多言語音声翻訳、環境品質短期予測等の拡張DCCS**を展開
- **高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの内部機能連携**を強化
- **CyReal実証環境**のサービスを開始し、次世代TN/NTN等さらなる拡張・高度化検証に対応する**ワイヤレスエミュレーション技術**の検討を進めた

DCCS:
多様なデータとその分析機構、さらにB5Gネットワークを組み合わせた、B5G時代のサービス創成に資するデータ連携利活用サービス開発環境を提供



プラット
フォーム
レイヤ

CyReal実証環境:
物理事象の取込みにより、シミュレーション要素導入、実システム接続を可能としたエミュレーション環境を提供



ミドルウェア
レイヤ

B5Gモバイル環境:
複数モバイル拠点において、DU/CU/5GCのソフトウェア拡張の実証環境を提供

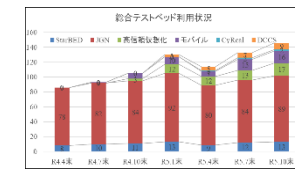


B5G高信頼仮想化環境:
無線網も考慮したリソース配分機能や耐障害機能等の評価・検証環境を提供



ネットワークレイヤ

- テストベッドの利活用事例、利用見込案件の精査や、フォーラム活動を通じて、関連する検証環境の高度化を検討
- テストベッド利用者より得られた意見に基づき、HPの技術情報拡充、FAQ等のメニューを更改



利活用事例の分析例



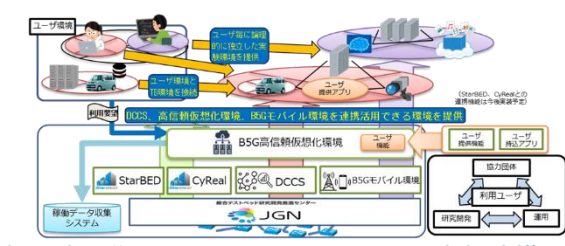
HPの改善

- Beyond 5G時代のCPSサービスの開発環境や、機構の多言語音声翻訳やデータ分析等のプラットフォームをDCCSを構築し提供



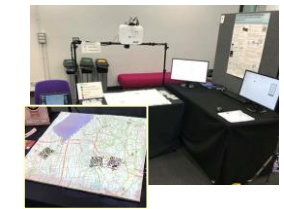
DCCSサンプルアプリケーションを提供

- 幅広いレイヤでの検証を進めたいという利用者のニーズに即し、高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの内部機能連携を強化



高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの内部連携

- エミュレーション、シミュレーション、実環境を組合わせたCyReal実証環境を整備、展開(令和5年4月)
- ICTシステムだけでなく、複雑な社会システムの検証も可能に



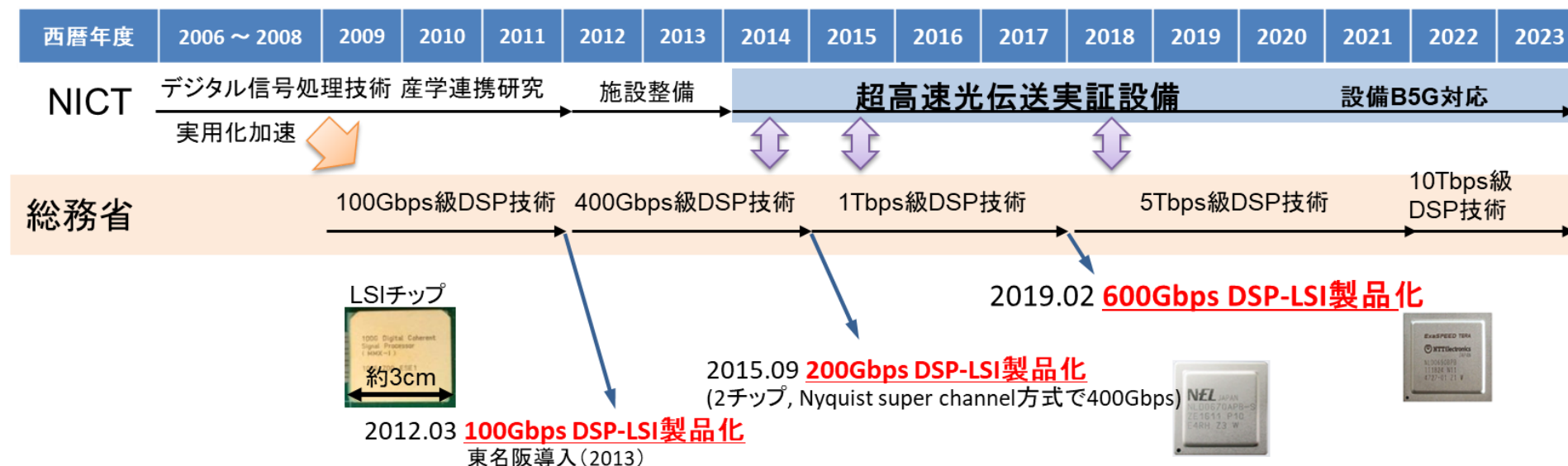
シミュレータ、エミュレータ、実デバイスを有機的に組み合わせた水害発生時の避難検証環境

高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッドの概要

テストベッドの利用による成果

- デジタルコヒーレント光伝送技術の研究開発 -

- 光ネットワークの高速大容量化・低消費電力化を両立する革新的技術として、デジタルコヒーレント光伝送技術の確立を目標とし、産学官が連携してコヒーレントデジタル信号処理 (DSP: Digital Signal Processor) の研究開発に取り組んでいる。NICTとしては、Beyond 5G共用研究開発テストベッドの利用等を通じて、600Gbps DSP-LSIの製品化に寄与している。



【Beyond 5G共用研究開発テストベッドの利用状況】

利用者名：日本電信電話(株)、富士通(株)、三菱電機(株)、日本電気(株)、NTTインノベティブデバイス(株) (旧NTTエレクトロニクス(株))

利用期間：平成26年～現在

利用施設：超高速光伝送実証設備

最新成果：1.2Tbps/λ対応DSP開発

光信号の変調速度を世界最高速の140ギガボーまで高速化し、従来比1.5倍となる1波長あたり1.2テラビット/秒を実現しています。また、800ギガビット/秒の光伝送距離を2倍以上に拡大することも可能となります。

(日本電信電話株式会社 2022年9月5日報道発表より)

<https://group.ntt.jp/newsrelease/2022/09/05/220905a.html>)

(1) 社会実装の加速化への寄与

- B5Gに向けた設備を中心に利用者ニーズをくみ上げ、企業等の実ニーズに応じたB5Gアーキテクチャの検証環境を充実させることで、B5G研究開発だけでなく、社会実装の加速につながるのではないかと。（“使いたいテストベッド”に）

(2) NICTが強みを有する技術・データ活用

- B5G実現に貢献できるNICTが強みを有する技術・データについては、提供を進めるためのインターフェースを整備し、積極的に外部に提供してはどうか。

(3) より効果的なテストベッドの活用

- 既存設備はB5Gに貢献する機能のみ拡張・開発し、外部の研究成果との接続、連携などインタワークを強化することで、B5Gシステムとしての検証、評価を促進させることができるのではないかと。

スタートアップ支援について

- 1. 成果活用型出資について**
- 2. 地域発ICTスタートアップ支援に向けた
「全国アクセラレータ・プログラム（起業家甲子園・起業家万博）」**
- 3. NICTの研究成果を活用するスタートアップ**
- 4. 次期中長期におけるスタートアップ支援に当たっての課題**

1. 成果活用型出資について

- 科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の規定に基づき、研究開発の成果の実用化及びこれによるイノベーションの創出を図るため、研究開発の成果を活用する事業者に対する出資が可能となっている。（成果活用型出資制度）



R5年度出資実績

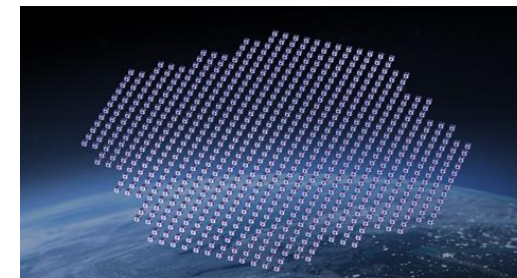
・ インターステラテクノロジズ株式会社

企業概要

代表取締役CEO：稲川貴大

事業開始：2013年1月

主な事業内容：ロケットの開発・製造・打上げサービス、
次世代人工衛星開発



イメージ図：超超小型衛星による衛星通信向け
フォーメーションフライト
提供：インターステラテクノロジズ株式会社

2. 地域発ICTスタートアップ 創出に向けた

全国アクセラレータ・プログラム (起業家甲子園®・起業家万博®)



各地域で開催される連携大会等において、有望な起業家・起業家の卵を発掘し、**全国大会である起業家甲子園・起業家万博**に向けてメンタリング、ビジネスプランのブラッシュアップを行います。

また、各地の自治体・団体等によるスタートアップのサポート体制の強化に向け、スタートアップエコシステム作りを強化していきます。

発掘フェーズ

各地域でスタートアップを支援する自治体・団体等とともに、**連携大会等**を開催します。著名なICTメンター陣が参加し、**有望な起業家・起業家の卵を発掘**します。



著名なICTメンター陣の
連携大会等への参加

イベントを通じた、
地域スタートアップ
コミュニティの活性化

育成フェーズ

発掘した起業家・起業家の卵に対し、**担当ICTメンターがメンタリング、ビジネスプランのブラッシュアップを実施**します。



メンタリング、ビジネス
プランのブラッシュアップ

シリコンバレー
ブートキャンプ (※)

※ 起業家甲子園出場予定者のみ対象

事業化支援・拡大フェーズ

ブラッシュアップされたビジネスプランを披露する場として、総務省・NICTの共催により例年3月上旬に**起業家甲子園・起業家万博**を開催します。全国の有望な学生やICTスタートアップが集結します。



最優秀者には
「総務大臣賞」を授与

多数のパートナー企業との
マッチング

その後のフォローアップ

展示会への出展支援

自治体ニーズとの
マッチング

情報発信

連携大会：18大会（起業家甲子園対象：10、起業家万博対象：13）

発掘



	イベント名	対象	主催等	開催時期	会場等
北海道	北海道起業家甲子園2024	甲子園	経済省北海道総合通信局、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、北海道テレコム総協会、(一社)北海道モバイルコンテンツビジネス協議会(HMCC)	12月7日	HOTnet共創空間 Akallabo
	第9回NoMaps Dream Pitch2024	甲子園 万博	STARTUP HOKKAIDO実行委員会(札幌市・北海道・札幌産業振興北海道経済産業局 等)、経済省北海道総合通信局、北海道大学創造イノベーション育成支援ネットワーク(HIF-FC)、(公財)北海道科学技術創造イノベーションセンター(チャレンジフィールド北海道本部)	9月11日	ACU-A
東北	SPARK! TOHOKU 2024	甲子園 万博	SPARK! TOHOKU 2024 実行委員会	12月13日	スマートイノベーションラボ(SIL)仙台
関東	スタートアップオーディション in YOKOSUKA		(公財)横須賀市産業振興財団、横須賀市、神奈川県、京浜急行電鉄株式会社	10月9日	ヴェルクよこすか
	宇都宮アクセラレーター2024		宇都宮イノベーションコンソーシアム	8月22日	オンライン
	PlanTビジネスプランコンテスト2024		日野市、有限会社A&Dネットワーク	12月7日	日野市多摩平の森産業連携センターPlanT
信越	信州未来アプリコンテスト0(ZERO)	甲子園 万博	長野県他	1月26日	長野県
東海	Tongaliビジネスプランコンテスト	甲子園	Tongali	6月15日	千種文化小劇場
	GLOW Pitch		名古屋市	11月21日	ナゴヤイノベーターズガレージ
	GNBベンチャー大賞 (ニュービジネスフェア2024)		中部ニュービジネス協議会	11月26日	STATION Ai イベントスペース「ニュービジネスフェア2024」会場
近畿	ミライノピッチ2024	甲子園 万博	(公財)大阪産業局、大阪イノベーションハブ(大阪市)	12月7日	大阪イノベーションハブ(OIH)
中国	やまぐちアクセラレーションプログラム ～Mirise(ミライズ)～		山口県	10月13日	山口県政資料館
九州	九州・山口ベンチャーマーケット2024		九州・山口ベンチャーマーケット実行委員会	12月23日	みらいホール
	StartupGo!Go!	甲子園 万博	(一社)Startup GoGo	10月9日・10日	福岡大名ガーデンシティ
	第10回崇城大学ビジネスプランコンテスト	甲子園	崇城大学、熊本県	12月14日	崇城大学SoLAホール
	第24回 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト	甲子園	第24回九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト実行委員会	11月9日	ももち浜SRPホール
沖縄	『X-Tech Innovation 10th Anniversary』沖縄地区大会		株式会社 沖縄銀行	12月5日	てんぷす那覇 テンプスホール
	イベント名	対象	主催等	開催時期	会場等
全国高専	第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	甲子園	(一社)全国高等専門学校連合会、NPO高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)	10月19日・20日	なら100年会館

ICT分野における国際競争力向上及び地域発ICTスタートアップ創出による地域活性化を図るに当たり、事業化を阻むとされる「3つのクレバス：事業計画、資金、人材」を埋めることを目的として、2011年度に組織化しました。

ベンチャーキャピタリスト（VC）・起業家によって構成され、「ICTメンター」として活躍しています。

ICTメンター

各地域で開催される連携大会等に参加し、有望なICTスタートアップを発掘します。

また、そのICTスタートアップに対し、メンタリング及びビジネスプランのブラッシュアップを行います。



石元 良武 氏
DBJキャピタル株式会社
投資部 シニア・インベスト
メント・マネージャー



今野 穰 氏
株式会社グロービス・キャピタル
・パートナーズ 代表パートナー、
最高執行責任者(COO)



上原 仁 氏
Coalis
ジェネラルパートナー



庄子 素史 氏
ソーシャルファイヤー株式会社
代表取締役社長



杉原 美智子 氏
フォーアイディールジャパン株式会社
代表取締役社長



田島 聡一 氏
株式会社ジェネシア・ベンチャーズ
代表取締役/General Partner



田中 邦裕 氏
さくらインターネット株式会社
代表取締役社長



中嶋 淳 氏
Archetype Ventures
Managing Partner



永瀬 史章 氏
D4V
Partner



廣澤 太紀 氏
THE SEED
General Partner



福野 泰介 氏
株式会社jig.jp
取締役 創業者



保科 剛 氏
株式会社T
代表取締役



山田 優大 氏
Partners Fund
代表パートナー



武田 泉穂 氏
MVP株式会社 代表取締役/
株式会社ビジョンインキュベイト 取締役

ICTメンター〔顧問〕

ICTメンターとしての経験に基づき、高度な観点から提言・助言を行います。



伊藤 健吾 氏
D4V ファウンダー



照沼 大 氏
日本ベンチャーキャピタル株式会社(NVCC) シ
ニアパートナー
北九州市顧問



本間 真彦 氏
インキュベイトファンド
代表パートナー

令和5年度 起業家甲子園 ・ 起業家万博

令和5年度 起業家甲子園 ・ 起業家万博

令和6年3月13日（水）・14日（木）@丸ビルホール&コンファレンススクエア

※R6年度：R7.3.13（木）、14（金）同場所で開催予定

審査委員

審査委員長
上原 仁 氏
株式会社マイネット
取締役会長/ファウンダー

加藤 史子 氏
WAmazing 株式会社
代表取締役CEO

金子 剛士 氏
East Ventures
パートナー

松山 馨太 氏
New Commerce Ventures
株式会社
代表パートナー

両角 将太 氏
F Ventures LLP
有限責任事業組合
代表パートナー

山田 優大 氏
Partners Fund
代表パートナー

審査委員

審査委員長
中野 慎三 氏
伊藤忠テクノロジーズベンチャーズ株式会社
取締役/パートナー

井上 智子 氏
オムロンベンチャーズ株式会社
代表取締役社長

坂本 教晃 氏
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
取締役COO パートナー/マネージングディレクター

堤 達生 氏
STRIVE
General Partner

和田 圭祐 氏
インキュベイトファンド
代表パートナー

令和5年度の結果

- 学生10チームが出場
- 総務大臣賞：Fair Med（神戸大学）
AIによる血管内手術ナビゲーションシステム
開発事業
- NICT理事長賞：Sabotics（九州工業大学大学院）
介護施設における業務サポートロボット：佐保



令和5年度の結果

- ICTスタートアップ10社が出場
- 総務大臣賞：（株）シンク・ネイチャー
生物多様性ビッグデータ&AIによるネイチャー
ポジティブビジネスの実装
- NICT理事長賞：アイラト（株）
AIによる放射線治療計画支援サービス



令和5年度 パートナー企業：23社



令和6年1月11日現在

I-O DATA



NTT DATA



SHARP



Orchestrating a brighter world

NEC



JETRO

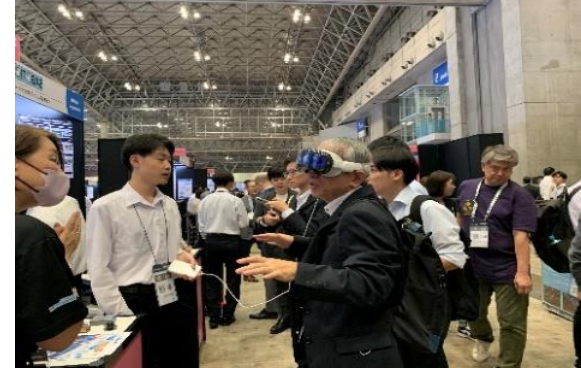
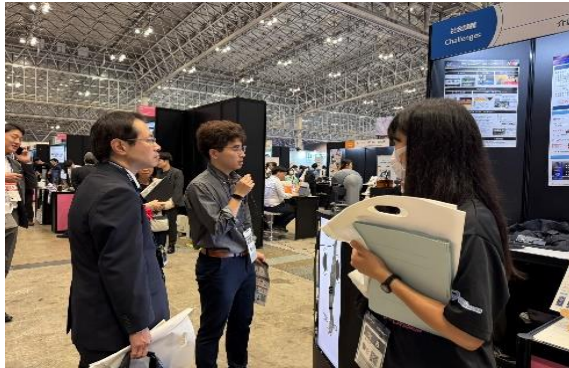


INITIAL

【令和5年度新規パートナー企業】
シャープ株式会社、NEDO、
大阪ガス、JICT※
※JICT:2023.6.30、NICTと
「連携・協力の推進に関する協定」を締結。

- 事業拡大支援のため、起業家甲子園・起業家万博出場者等を対象に、CEATECへの出展補助を実施。
- 「Innovation for All」をテーマに開催されたCEATEC2024に関し、「ネクストジェネレーションエリア」において、過去の起業家甲子園・起業家万博出場者等10者が出展。

■ ネクストジェネレーションパーク(デプロイメント推進部門主管ブース)



出展者展示ブースでのご説明・体験の様様



ピッチステージにおける出展者のプレゼン模様

【ご参考】「スタートアップ育成5か年計画」

新しい資本主義実現会議決定(令和4年11月28日)



- 政府におけるスタートアップ育成に関する基本政策である「スタートアップ育成5か年計画」との関係は以下のとおり。

1. スタートアップ創出に向けた人材・ネットワークの構築

No.	項目	対応案等
(1)	メンターによる支援事業の拡大・横展開	● 新たな連携大会等におけるブラッシュアップセミナー等の仕掛けの検討
(4)	1 大学 1 エグジット運動 (50社起業、1 エグジット) ・ 地方に大きなポテンシャル	● JSTの「大学発新産業創出基金事業」の9 PFとの連携
(5)	大学・小中高生でのスタートアップ創出に向けた支援 ・ メンターやアクセラレーターからの支援機会の提供	● Super Science High Schoolへのアプローチ ● DXハイスクール (高等学校DX加速化推進事業) へのアプローチ ※SSHとDXハイスクールはかぶらない。
(6)	高等専門学校における起業家教育の強化	● 引き続き高専プロコンとの連携
(12)	国内の起業家コミュニティの形成促進	● 起業家甲子園・起業家万博アルumnaiの構築を検討

2. スタートアップのための資金供給の強化と出口戦略の多様化

No.	項目	対応策等
(6)	海外先進エコシステムとの接続強化	● 国内外のスタートアップイベントの調査・整理
(23)	社会的起業のエコシステムの整備とインパクト投資の推進	● スタートアップと老舗・大企業がともに変化を起こし成長する「地域ICTイノベーション・エコシステム」形成に向け、起業家応援団等との関係づくり
(26)	地方におけるスタートアップ創出の強化	● 同上。ICTメンターが直接地域の連携大会に足を運ぶ。つながる。
(28)	2025年大阪・関西万博でのスタートアップの推進	● 20240916(火) ~0922(月) @FLEでの出展を、振り返りとReSTARTと捉え、2025以降のアクセラレータ・プログラムを検討

3. オープンイノベーションの推進

No.	項目	対応案等
(9)	大企業とスタートアップのネットワーク強化	● パートナー企業との連携強化 ● スタートアップと老舗・大企業がともに変化を起こし成長する「地域ICTイノベーション・エコシステム」形成に向け、起業家応援団等との関係づくり

3. NICTの研究成果を活用するスタートアップ



- NICTの(元)職員がNICTの研究成果を活用するベンチャー企業(NICT発ベンチャー)として、2017年度までに11社が起業。
 - 例:(株)パリティ・イノベーションズ、(株)アロマジョイン、(株)ノベルクリスタルテクノロジー
 - このほか、2024年度には少なくとも2社が新規起業の見込み。
- NICT発研究成果の社会実装の担い手を増やす観点から、以下の点を考慮したスタートアップ支援制度の再整備を遂行中。
 - 経営者が(元)職員であるかどうかにかかわらず、NICTの研究成果を活用するスタートアップ全体を支援対象とする。
 - NICT研究者が退職等をして経営の中核を担うことなく、外部の事業化支援機関の協力を得て、外部から経営者を招いて起業する形態に向けた支援を行い、NICT研究者の心理的ハードルを下げる。
 - NICTが支援するのが適切かどうかを基準とした認定制度を創設し、認定されているスタートアップを対外的に明確に示す。

4. NICT次期中長期におけるスタートアップ支援に当たっての課題等

(1) 起業家甲子園・起業家万博に関するアルムナイ（同窓会組織）の構築

- ・令和6年度で、起業家甲子園14年度目、起業家万博23年度目となり、卒業生が多数いるにもかかわらず、組織化されておらず、知見が生かされていない。
- ・ICTメンターや同顧問、起業家応援団（連携大会主催者等）、当該施策に関する関係者も多数いるが、現行の「全国アクセラレータ・プログラム」のみでの関わりに終始しており、協力体制が築けていない。

(2) サポート人材の多様化・強化

- ・「起業家甲子園」、「起業家万博」出場後の、起業時や起業後に必要な、リーガルやファイナンス、知的財産権に関して、ケアできてない。
- ・ディープテック領域に注目しているところ、学術研究者←→起業家人材のブリッジができていない。

(3) ソーシャルインパクト型ビジネスの社会実装化を支援を評価

- ・従来はスケールするビジネスを重視。
- ・地域課題・社会課題の解決を目指すソーシャルインパクト型ビジネスの増加への変化の対応が不十分。

(4) 地域ICTイノベーション・エコシステム構築に向けた産学官金の巻き込み

- ・スタートアップ×地域企業・金融等によるオープンイノベーションを推進するwin×win×winの関係構築が希薄。

R5年度起業家甲子園 上原審査委員長講評

- 起業やスタートアップを取り巻く環境自体がどんどん変化している。スマホアプリやクラウド・SaaS等の領域は、先人たちに取つとされており、次なるテーマが見えづらくなっているのが、今現在のスタートアップの環境。
- 今、**しっかりと長い時間をかけて深い学術研究成果を基にしたビジネス（ディープテック）をはぐくんでいくということ自体が、スタートアップやベンチャー投資の領域において重要なテーマ。**
- また、**スタートアップ、起業とテクノロジーをしっかりと結び付ける**レベルが上がってきている。
- もう一つのトレンドとして、**大手企業はオープンイノベーション**に取り組んでおり、学術研究に対してしっかりと踏み込み、ともに産業を創出していくという取り組みなどを実施している。**テクノロジードリブンのスタートアップ、起業に歩み寄ってきており、一緒に取り組みやすくなっている。**
- ディープテック事業を世の中に展開・価値供給していくには長い時間、大きな資金も必要。ディープテックに取り組む皆さんが、テクノロジーを生かした企画を組んでいる段階から、どのような大企業と組んでいけば この研究価値が一番多くの人たちに広がっていくのか、彼らがどのような研究開発を進めているのか、**戦略的に彼らと組むという進め方が、皆さんの研究価値を世の中に広めるために重要**になってくる。
- **日本の産業界全体の中で、スタートアップや起業家は、いわば 日本の産業界全体の中の研究開発新規事業開発部門。**日本において対外にビジネス開発や営業活動をしてくれる**大企業と組むことで、日本の産業競争力全体、日本全体の競争力を高め**ていくこと、それに資することができるまで、今現在の起業、スタートアップ、ディープテックとが歩みを進めることができている。